

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2020-198949(P2020-198949A)

【公開日】令和2年12月17日(2020.12.17)

【年通号数】公開・登録公報2020-051

【出願番号】特願2019-106213(P2019-106213)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 2 0

A 6 3 F 5/04 6 6 1

【手続補正書】

【提出日】令和3年5月25日(2021.5.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の付与条件が成立したことに応じて遊技用価値を付与する処理を実行可能な付与手段と、

遊技者にとっての有利度合いを示す設定値を変更する処理を実行可能な設定値変更手段と、

遊技用価値を貯留可能な貯留手段と、

電源をオン状態とオフ状態とに切り替えるための電源スイッチと、を備え、

前記付与手段により遊技用価値の付与が発生し、前記貯留手段に貯留される遊技用価値の値を更新する場合、当該更新と当該更新の次の更新との間に所定時間の間隔を持たせるものであり、

前記設定値変更手段は、前記電源スイッチで遊技機の電源をオフ状態にした後に、所定操作を行い、その後、電源をオン状態にした場合に前記設定値の変更を可能とするものであり、

前記設定値変更手段により設定された前記設定値は、電源がオン状態のまま確認可能であり、

前記付与手段により遊技用価値の付与が行われることとなってから予定分の付与が終わる前においては、前記設定値変更手段による処理の実行を禁止可能にしている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

近年多くの遊技機は、マイクロプロセッサーにより制御され、電源オフによる意図的な電断時、停電や電圧降下等の意図しない電断時、電断直前の遊技情報をRAMに保存し、電源オンによる手動復旧時、電源回復による自然復旧時、保存した遊技情報に基づいて、電断前の遊技の続きを遊技を再開できるようにしている(例えば、特許文献1等参照)

。
【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

また、多くの遊技機は、遊技者が触ることのできない遊技機の内部スイッチにより、遊技者にとっての有利度合いを示す設定値を変更可能にしている。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【特許文献1】特開2004-73611号公報

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

ところで、メダルの払出途中で、メダル詰りやメダル切れによりエラー停止すると、遊技場係員により遊技機の内部にアクセスする必要性が生じる。この場合、メダル詰りの解消、メダルの補給等でエラー解除は本来可能であるが、エラー表示メッセージが各社区々であり、また、エラーによっては設定変更がエラー解除条件の一つになっている場合もあるため、誤って、電源をオフし、設定変更の操作をしてしまう恐れがある。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

設定変更がされると、広範囲なRAM領域が初期化され、電断前の遊技情報は消去されるため、予定分のメダルの払出しが途中で打ち切られる等の不具合が発生する恐れがある。

。
【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明はこのような問題に鑑みてなされたものであり、不具合を抑制可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記目的を達成するため、本発明は、以下のような構成の遊技機を提供する。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

所定の付与条件が成立したこと（例えば、入賞等）に応じて遊技用価値を付与する処理を実行可能な付与手段（例えば、「メインCPU101等でするメダル払出処理」等）と、

遊技者にとっての有利度合いを示す設定値を変更する処理を実行可能な設定値変更手段（例えば、「メインCPU101等でする設定変更処理」等）と、

遊技用価値を貯留可能な貯留手段（例えば、クレジット等）と、

電源をオン状態とオフ状態とに切り替えるための電源スイッチ（例えば、電源スイッチ53a等）と、を備え、

前記付与手段により遊技用価値の付与が発生し、前記貯留手段に貯留される遊技用価値の値を更新する場合、当該更新と当該更新の次の更新との間に所定時間の間隔を持たせるものであり、

前記設定値変更手段は、前記電源スイッチで遊技機の電源をオフ状態にした後に、所定操作（例えば、設定キーを差し込んで回す等）を行い、その後、電源をオン状態にした場合に前記設定値の変更を可能とするものであり、

前記設定値変更手段により設定された前記設定値は、電源がオン状態のまま確認可能であり、

前記付与手段により遊技用価値の付与が行われることとなってから予定分の付与が終わる前においては、前記設定値変更手段による処理の実行を禁止可能にしている（例えば、遊技用価値の付与中を条件に電断時にセットする設定変更禁止フラグに基づいて、電断復旧時の設定変更処理を禁止する等）

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

これにより、遊技用価値の付与処理が予定分の付与が終わらずに途中で打ち切られる等の不具合の発生を未然に防止できる。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

しかも、貯留手段に貯留される遊技用価値の値を更新する場合、当該更新と当該更新の次の更新との間に所定時間の間隔を持たせるものであり、このように所定時間の間隔を持たせて貯留手段を更新している途中で電断が生じても、予定分の付与が終わる前においては、設定値変更手段による処理の実行を禁止可能にしているため、不具合の発生を有效地に防止できる。加えて、設定値の変更は、電源をオフ状態にした後に、所定操作を行い、その後、電源をオン状態にした場合に可能となるのに対し、設定値の確認は、電源がオン状態のまま可能であるため、電断の機会を減らせ、不具合の発生をより低減できる。

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

本発明によれば、不具合を抑制することができる遊技機を提供することができる。

【手続補正13】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図226】

[BB中の設定変更を行っても、BB中の情報をクリアしない方法](1/4)fig.226

